

2021年10月1日

幼保連携型認定こども園 **西神戸 YMCA 保育園 10月えんだより**

10月聖句：「あなたがたの名が書き記されていることを喜びなさい。」

＜ルカによる福音書 10章 20節＞

夜が明けるのが少し遅くなり、朝晩が涼しく、過ごしやすい季節となりました。すっかり秋を感じる10月になります。子ども達の遊びも活動的になり、外に出て体を動かして遊ぶことに心地よさを感じる時です。お天気の良い日は、外に出て夢中に遊ぶ時間を保証していきたいと思います。

さて、毎日のニュースでは、新型コロナウイルス感染症の状況が流れ、今回の第5波では、子どもの感染が増加しており、〇〇名が感染したという記事を目にしますと緊張感が増します。最近手足口病も流行しているとか今年のインフルエンザには注意が必要等の情報が、押し寄せるように次々と流れて来ますと不安は勿論ですが、同時に自然と心の内から安全を祈る気持ちが湧いてきます。

子ども達は言葉にしなくても、感染症のことを耳にして、大人も子どもマスクを装着する姿や様子が続きますと、無意識にも平常ではないこの時に、違和感や不安を抱くことと思います。毎日の保育の始まりが神様へのお祈りで始まるように、どんな時にも支えてくれる存在が、一人一人の心に届いてくれることを願います。

子ども達もそうですが、日々の生活には、絶対的な安心の場所や空間を求めます。それは個々によって異なりますが、一番分かりやすいのは「家」とか「実家」かもしれません。ここで言う「安心な場所」とは、目で見える場所ではなく、心の拠り所と言った方がよいでしょう。拠り所は、絶対的であり、指示や命令もなく、疑うことも無い全てを包み込んでくれる安全性と安心感があるところです。心の充電や洗濯をする場所とも言えます。そうした存在があると、子ども達は、自らが考えて、動いていくことができるようになります。そう考えますと、我々大人ができることはどんな状況にあっても、傍らに居て、子どもの存在そのものを信じて、動き出すのを支持してあげることしかできない者なのかもしれません。

子ども達は、大きくなればなるほど、活動も活発になり、人との交わりの時間や機会も多くなります。そうしますと、そこには、達成感を感じる時もあれば、思い通りに行かないことが多々あり、実はその両方からたくさんの学びをしていくのです。自ら学んだものは真の力となって生きる土台となっていくのです。

「あなたの名が刻まれている」とは、目に見えることや、耳にすることだけを信じるのではなく、寧ろ、神様の存在を信じるあなたは安心しなさい。一喜一憂するのではなく、どんな時にあっても守りますと言われていています。心に平安と平和が保たれますように願います。

年主題 『共に喜んで』 ～ すべての歩みの中 ～

10月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	やってみよう	ふれあう
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> * 季節の移り変わりを感じ、身近な自然とであう。 * 体を動かす遊びを喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> * 神様が与えてくださっている力を出し合い、共に取り組む * 疑問や気づいたことを調べたり、考えたりする。 * 友だちと遊ぶ中で、色々な方法に挑戦し、失敗を重ねながら試す。
讃美歌	ちから	世界のこどもは こども改 100